

集 会 日 程

11月10日 (木)

参加者登録 (受付) 10:00~10:30

開会 (会議室) 10:30~10:45

開会あいさつ 市 古 貞 次 (国文学研究資料館長)

特別講演 (会議室) 10:45~12:15

「狂言と現代との接点」

リチャード・マッキノン (ワシントン大学教授)

「日本におけるモダニズム作家について」

ドナルド・キーン (国文学研究資料館外国人研究員・コロンビア大学教授)

研究発表 (会議室) 14:00~15:00

座長: 池 田 重 (千葉大学教授)

古今集への影響と古今集からの影響

ニコラス・ティール (筑波大学講師)

西洋から見た日本の女流日記文学の伝統

キャサリン・プロデリック (神戸女学院大学助教授)

休けい 15:00~15:30

研究発表 (会議室) 15:30~17:00

座長: 長谷川 泉 (学習院大学講師)

文学研究の中核概念としての「文学」および「作品」

坂 野 信 彦 (中京大学助教授)

夏目漱石の言語の使用から生ずる翻訳上の諸問題

アラン・ターニー (清泉女子大学教授)

「新散文詩」について デニス・キーン（日本女子大学教授）

レセプション（ホール） 17：30～19：00

11月11日（金）

宮内庁書陵部見学 13：30～14：30

国文学関係古写本等

裏千家家元東京出張所 15：00～16：15

茶の湯

国立劇場演劇観賞 17：00～21：00

和田勝一作「海援隊」4幕 中村吉右衛門ほか

1. 研究集会の経過

第1回国際日本文学研究集会は、この種の研究集会としては、初めての試みであり、集会全体を全部日本語で運営するという点でも、画期的な国際集会であったが、参加者の努力と、国文学研究資料館各部の協力により、成功裡に予定通り全日程を終了した。

研究集会の主な経過は次のとおりである。

第1日、11月10日（木）

(1) 参加者登録

午前10時から、国文学研究資料館1階ホールにおいて、参加者登録および受付を行い、表1のとおり、16ヵ国、85名の参加者があった。（翌日登録者を含む）

表1 国別参加者数

国	参加者数
1 日本	36名
2 米国	28
3 英国	4
4 カナダ	3
5 フランス	2
6 アルゼンチン	2
7 イスラエル	1
8 オーストラリア	1
9 スウェーデン	1
10 タイ	1
11 台湾	1
12 デンマーク	1
13 ドイツ連邦	1
14 ノルウェー	1

15	フィリピン	1
16	ブラジル	1
計	16ヵ国	85

(2) 開 会

午前10時30分、国文学研究資料館 1 階大会議室において、古川清彦国文学研究資料館教授の司会で開会が行なわれ、国際日本文学研究集会組織委員長、市古貞次国文学研究資料館長の開会のあいさつが行われた。

(3) 特別講演

午前10時45分、開会に引きつづき、ただちに、リチャード・マッキノン、ワシントン大学教授、および、ドナルド・キーン、国文学研究資料館外国人研究員・コロンビア大学教授による。別掲の特別講演が行われた。

(4) 国文学研究資料館紹介、利用案内

プログラムを一部変更し、特別講演に引きつづいて、本田康雄国文学研究資料館教授から、同館の紹介、および、同館の資料の利用方法が説明された。
(参加者には同館の資料利用のための入館証が配布された)

(5) 特別展示説明および見学

昼休みを利用して特別展示の見学ができるように、国文学研究資料館紹介に引きつづいて、昼食前に、特別展示「国学者自筆稿本と奈良絵本を中心にして」（国学者自筆稿本25点、絵巻・奈良絵本・丹緑本13点、その他国文学研究資料館蔵貴重書4点）の説明が、杉山重行国文学研究資料館助教授によって行なわれた。

昼食後、各自自由に、2階の展示室の見学が行われた。

(この間に新聞社の本集会についての取材も行われた)

(6) 研究発表

午後2時から、池田重千葉大学教授の座長のもとに、ニコラス・ティール筑波大学講師、キャサリン・プロデリック神戸女学院大学助教授の古典に関する二つの発表が、各25分づつ行われ、日本の研究者からの質問もあった。

活発な意見の交換で若干時間を超過したので、休けい時間を10分に短縮し、午後3時30分から予定通り長谷川泉学習院大学講師の座長のもとに、坂野信彦中京大学助教授、アラン・ターニー清泉女子大学教授、デニス・キーン日本女子大学教授の文学論および近代文学に関する発表が行われた。

(7) レセプション

午後5時30分から、2階ホールで、組織委員会主催のレセプションが行われ、組織委員会を代表して、臼田甚五郎国学院大学教授のあいさつの後、井本農一お茶の水大学教授の発声で乾盃、とくにこの集会のために来日されたオロフ・リディン、コペンハーゲン大学教授のあいさつがあり、在日日本文学研究者が一堂に会した、なごやかな、うちとけた雰囲気のもとで、午後7時まで懇談が行われた。

第2日、11月11日（金）

(8) 宮内庁書陵部見学

午後1時15分、皇居北詰橋（きたはねばし）門外に集合、あらかじめ提出されていた参加者名簿と照合確認ののち、同門から皇居内にはいり、宮内庁書陵部において橋本不美男宮内庁書陵部調査官の説明のもとに、同部所蔵の国文学関係古写本等31点の展示の見学が、約1時間行われた。なおこの見学の参加者側責任者は福田秀一国文学研究資料館教授であった。

(9) 裏千家家元東京出張所における茶の湯

裏千家家元のご好意により、同東京出張所（千代田区二番町7）において茶の湯が行われ、多田侑史同所長の説明のもとに、茶の湯が催され、茶室の

見学も行われた。なお参加者側責任者は松田修国文学研究資料館教授であった。

(10) 国立劇場演劇観賞

午後5時から、国立劇場において、和田勝一作、中村吉右衛門ほかによる「海援隊」4幕の観劇が行われた。(希望者のみ参加)

以上により11月10日、11日の2日間にわたる第1回国際日本文学研究集会の全日程を無事終了した。

*

*

*

参加者に対するアンケート

今回は第1回の試みなので、今後の国際研究集会を企画、運営する上で参考にするために、全参加者に対し、参加者票を配布して連絡事項を記入していただくとともに、本集会に対する意見を求めた。

意見の記入のあった回答は17あった。

一般的に有意義な試みであったというもののほかに主なコメントを要約すれば、

- 今後もこのような集会を続けるべきである。毎年行うことを希望する。
このような機会をもっとつくってほしい。等
- 時間にゆとりがない。発表の数を少くして意見交換をする時間をもっととれないか。特別講演はもう少し時間がほしい。等
- パネル・ディスカッションや分科会にわかれて意見の交換を行うことも考えられないか。
- 発表要旨を当日でなく、事前に見たい。

などであった。

また集会の開催時期については、秋、夏、という希望は、それぞれ該当す

る月ならばどの月でもよいと解釈して月別に集計すれば、10月、11月を可とするもの各々6名、7月、8月を可とするもの各々5名、ただし、7月、8月を不可とするもの1名、その他であった。

参 加 者 名 簿

氏 名 (国名)	専 攻	現職名あるいは所属機関
AINLAY Thomas Jr., (アメリカ)	日本文学一般	コスモポリタン言語研究所
秋 山 虔 (日本)	中古文学	東京大学教授
芥 川 隆 信 (日本)		武蔵野予備校
ARAKI, James T. (アメリカ)	室町・江戸後期の 散文文学	ハワイ大学教授
ARMOUR, Andrew S. L. (イギリス)	平安朝文学と思想	慶応大学研究生
BEICHMAN, Janine (アメリカ)	日本詩歌	上智大学講師
BETHEL, Diana (アメリカ)	与謝野晶子	日本国際文化交換センター 講師
BOCKHOLD, Wolfgang (西ドイツ)	日本文学における 武士の思想	新潟大学研究生・ミュンヘン 大学院
BODIN, Sylvie (フランス)	宮 沢 賢 治	慶応大学研究生・パリ東洋 語学校大学院
BRODERICK, Catherine V. (アメリカ)	女流日記文学	神戸女学院大学助教授
趙 姫 玉 (中国)	近世文学	お茶の水女子大学研究生
CHINEN, Nelida N. (アルゼンチン)	芥 川 龍 之 介	筑波大学地域研究・サルバ ドル大学
CHRISTENSEN, Larry (アメリカ)	白 樺 派	静岡大学研究生
COGAN, Thomas (アメリカ)	中世軍記物語	早稲田大学研究生・ハワイ 大学大学院
CURTIS, Howard W. (アメリカ)	有 島 武 郎	神戸大学研究生
DELTEIL, F. André (フランス)	幸 田 露 伴	早稲田大学研究生・パリ第 三大学
DUFOUR, Dorothy (アメリカ)	自 然 主 義	北海道大学研究生
ERICSON, Joan (アメリカ)	仏 文 学	上智大学・国際キリスト教 大学講師

藤井 アテナ (日 本)		
FUKASAWA, Margaret B. (アメリカ)	近 代 詩 歌	
福 田 秀 一 (日 本)	中 世 文 学	国文学研究資料館教授
FULOP, James R. (アメリカ)	近代日本文学	成城大学大学院生
古 川 清 彦 (日 本)	近 代 文 学	国文学研究資料館教授
GEDDES, Ward (カナダ)	説話文学(唐物語)	京都大学研修員・マックギル大学助教
GERLING, Reuben (イスラエル)	中 世 歌 論 史	上智大学大学院生
GOFF, Janet (アメリカ)	平 安 朝 文 学	学習院大学東洋文化研究所・ミシガン大学大学院
GOOSSEN, Theodore W. (アメリカ)	近・現代文学 志 賀 直 或	(寺子屋研究会)・トロント大学大学院
GOOSSEN, Yuntai Tam (カナダ)	津 田 左 右 吉	早稲田大学研究生・トロント大学大学院
GRØNNING, Turid (ノルウェー)	近代女流作家	お茶の水女子大学研究生・コペンハーゲン大学大学院
長谷川 泉 (日 本)	近 代 文 学	学習院大学講師
HIRAI, Lillian K. (アメリカ)	今 昔 物 語	筑波大学研究生・ハワイ大学大学院
HOGG, Maynard (カナダ)	敬語、アクセント	東京都立大学大学院生
本 田 康 雄 (日 本)	近 世 文 学	国文学研究資料館教授
市 古 貞 次 (日 本)	中 世 文 学	国文学研究資料館館長
池 田 重 (日 本)	中 世 文 学	千葉大学教授
井 本 農 一 (日 本)	近 世 文 学	お茶の水女子大学教授
石元ルイザ那奈 (ブラジル)	中世説話文学 (宇治拾遺物語)	お茶の水女子大学学生・サンパウロ大学

石塚道子 (日 本)	能・狂言 能・狂言 と外国演劇との比較	お茶の水女子大学大学 院生
位藤邦生 (日 本)	中 世 文 学	広島大学講師
岩下武彦 (日 本)	上代文学・万葉集	名古屋学院大学講師
金本節子 (日 本)	中 世 文 学	広島大学教育学部助手
KEENE, Dennis (イギリス)	近 代 文 学	日本女子大学教授
KEENE, Donald (アメリカ)	近世・近代文学	国文学研究資料館客員研究 員・コロンビア大学教授
KOMINZ, Laurence (アメリカ)	日 本 中 世 文 学	京都大学人文科学研究所研 究生・コロンビア大学大学院
小山弘志 (日 本)	中 世 劇 文 学	東京大学教授
LIDIN, Olof (デンマーク)	荻 生 徂 徠	コペンハーゲン大学教授
LINDBERG—WADA, Gunnila (スウェーデン)	源 氏 物 語 古 今 和 歌 集	東京大学大学院研究生・ス トックホルム大学大学院
松原敏子 (日 本)	中世文学(平家物 語と能との関係)	慶応大学学部生
松田修 (日 本)	近 世 文 学	国文学研究資料館教授
McKINNON, Richard N. (アメリカ)	能	ワシントン大学教授
三満美穂 (日 本)		広島女子大学学部生
MOJICA, D. Beatriz P. (フィリッピン)	日 本 語 教 授 法	東京外国語大学研究生
MORITA, James R. (アメリカ)	近 代 文 学	オハイオ州立大学準教授
MORTON, D. Leith (オーストラリア)	有 島 武 郎	関西学院大学研究生・シド ニー大学大学院
内藤衛亮 (日 本)	図 書 館 情 報 学	国文学研究資料館助手
NAKAHARA, Earl (アメリカ)	日 本 語 一 般	関西外国語大学研究生

NAKAHARA, Gladys Emiko (アメリカ)	歌 謡	関西外国語大学研究生・ハ ワイ大学大学院
中 村 哲 郎 (日 本)	歌舞伎・文楽等の劇 日 本 演 劇	演劇評論家
NELSON, Beverly (アメリカ)	近 代 文 学 史	ハーバード大学大学院生
野 村 万 作 (日 本)		狂言師
OEST, Roberto H. E. (アルゼンチン)	近世文学 (芭蕉)	筑波大学教授
大久保 正 (日 本)	上 代 文 学	国文学研究資料館教授
奥 出 健 (日 本)	近 代 文 学	国文学研究資料館助手
小 山 敦 子 (日 本)	日本文学・語学	ニューヨーク日本文化研究 所
PETERSEN, Mark F. (アメリカ)	現 代 文 学	日本研究センター・ワシ ントン大学大学院生
斎 藤 明 (日 本)	近 代 文 学	アメリカ・カナダ十一大 学連合日本研究センター
坂 本 ふみゑ (日 本)	近 代 文 学	ミツワ書店
坂 野 信 彦 (日 本)	文学理論・文学概論	中京大学助教授
SANDNESS, Karen (アメリカ)	国語学 (中世文法)	お茶の水女子大学研究生・ エール大学大学院
品 川 芳 輝 (日 本)		杉並区立四宮小学校教諭
SOLT, John (アメリカ)	言 語 学	上智大学大学院生
SRIPRUGSAMATZ, Orasa (タイ)	近 代 文 学	筑波大学研究生・チュラロ ーンコーン大学大学院
杉 山 重 行 (日 本)	中 古 文 学	国文学研究資料館助教授
田 嶋 一 夫 (日 本)	中 世 文 学	国文学研究資料館助教授
高 木 きよ子 (日 本)	西 行	アメリカ・カナダ十一大 学連合日本研究センター副所 長

たかはししづえ (日本)	歴 史	TELS
龍田 肇 (日本)		文筆業
TEELE, Nicholas J. (アメリカ)	古今集・比較文学	
TEELE, Rebecca (アメリカ)	能	筑波大学講師
TURNEY, A. J. (イギリス)	近代文学	清泉女子大学教授
白田 甚五郎 (日本)	口承文芸学	国学院大学教授
WILLIAMS, J. Dominic (イギリス)	待遇表現(国語学)	早稲田大学研究生・ロンドン大学大学院生
山中 光一 (日本)	情報管理	国文学研究資料館助教授
山下 知須子 (日本)	イギリス文学	国際基督教大学
YASUHARA, Eri (アメリカ)	近世俳諧史	東京大学研究生・UCLA大学院

国際日本文学研究集会組織委員会名簿

- 委員長 市 古 貞 次 (国文学研究資料館長)
- 委員 池 田 重 (千葉大学教授)
- ゝ 井 本 農 一 (お茶の水女子大学教授)
- ゝ 臼 田 甚五郎 (国学院大学教授)
- ゝ ドナルド・キーン (国文学研究資料館外国人研究員・コロンビア大
学教授)
- ゝ 福 田 秀 一 (国文学研究資料館教授)
- ゝ 古 川 清 彦 (国文学研究資料館教授)
- ゝ 松 田 修 (国文学研究資料館教授)
- ゝ 山 中 光 一 (国文学研究資料館助教授)

事 務 局

- 幹 事 山 中 光 一 (兼)
- ゝ 田 嶋 一 夫 (国文学研究資料館助教授)
- ゝ 内 藤 衛 亮 (国文学研究資料館助手)
- ゝ 奥 出 健 (国文学研究資料館助手)